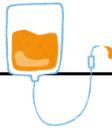


( 右・左 ) 全人工膝関節置換術 <TKA> で入院された患者様へ

ID ( ) 氏名 ( ) さん

日付	/		/			
経過	手術前日		手術日 (術前)		手術日 (術後)	
目標	入院生活や手術について理解できる。 不安や心配が軽減される。		不安なく手術を受けられる。		全身状態が安定し苦痛がない。 創部の安静が保てる。	
内服	いつも内服している薬を看護師に渡してください。		医師の指示がある薬のみ内服していただきます。			
注射			点滴を開始し、翌朝まで継続します。 		抗生物質の点滴をします。 痛み止めの点滴をします。	
リハビリ						
処置	血栓予防のための弾性ストッキングのサイズを測ります。		弾性ストッキングを装着します。		手術後～翌朝まで自動血圧計と心電図モニターを装着します。両足にフットポンプを装着します。 傷口にSBドレーンという管が入っています。	
食事	入院後は食事ができます。 ( ) 時以降は食べないでください。 		食事はできません。 水分は ( ) 時まで摂ることができますが、 以降は絶飲食になります。		医師の許可があれば、看護師がお腹の動きを確認した後、飲水が可能になります。 	
安静					翌朝までベッド上で安静にしてください。 手術した足をクッションで挙上します。	
排泄					おしっこの管が入った状態で帰室します。	
清潔			体拭きを行います。 医師の許可があれば、シャワー浴をします。			
説明 (その他)	主治医と麻酔医から手術の説明があります。 病衣、バスタオル、おむつ等の準備物を看護師が確認します。 そのほか疑問や不安な点があれば、いつでもご相談ください。				痛みがある場合は、我慢せずにお知らせください。	

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。

( 右・左 ) 全人工膝関節置換術 <TKA> で入院された患者様へ

ID ( ) 氏名 ( ) さん

日付 経過	術後1～3日目	術後4～7日目	術後8日目～
目標	合併症を起こさない。 痛みの範囲内でリハビリができる。	リハビリを継続し、日常生活に近づく。	出血や感染がなく、創部が閉じる。
内服	医師の指示で内服を再開します。 		
注射			
リハビリ	術後1日目からリハビリを開始します。		
処置	術後1日目にフットポンプを外し、SBドレーンを抜去します。 術後2日目に弾性ストッキングを脱ぎます。	傷口の状態を確認させていただく場合があります。 10時頃までは、お部屋に居てください。	術後13日目に半抜鉤（抜糸）、 術後15日目に全抜鉤（抜糸）します。 術後20日目に創部にマイクロポアテープを貼ります。 テープは1か月程度は継続してください。
食事	医師の指示に従いながら食事を再開します。		
安静	医師とリハビリスタッフの指示に従いながら、動いていただきます。		
排泄	状況に応じて、おしっこの管を抜きます。		
清潔	手術後は抜糸するまで原則入浴できません。 許可があれば、創部を保護した上でシャワー浴ができます。		 シャワーの際はマイクロポアテープを一旦剥がし、 創部を洗って乾燥させた後に再度テープを貼ってください。
説明 (その他)		リハビリを継続し退院に向けて頑張りましょう。	リハビリの内容に応じて、地域包括ケア病棟に転棟していただく場合があります。

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。